

よしかわ

No.153

議会だより

平成24年2月臨時会・3月定例会



主な内容	議会が新体制でスタート！	2～3
	平成24年度予算などを可決	4～5
	平成24年度予算に対する討論	6～7
	市長の施政方針を問う	8～9
	常任委員会の審査から	10～11
	答えて市長！一般質問	12～17
	審議結果・編集後記	18



議長・副議長



松澤 正 議長 五十嵐 恵千子 副議長

就任にあたって

市民のみな様には益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察致します。
 この度、正・副議長に就任致しました二人です。どうぞよろしくお願い申し上げます。
 毎年一千人以上の人口増。それに伴い、三月には吉川美南駅の開業と三郷吉川線の開通。来年には美南小学校の開校と大きな発展を遂げている吉川市。
 『吉川市に住んで良かった』と、市民のみな様から喜んで頂けるまち作りのために、議会も一丸となって働けるよう頑張ってお参ります。
 市民のみな様からのご支援やご協力をよろしくお願い申し上げます。

議会が新体制でスタート

去る1月29日に吉川市議会議員選挙が行われ、新たな議会の構成を決める臨時会が2月6日に開かれました。臨時会では議長、副議長等の選挙が行われ、常任委員会などの役職の選任等も行われました。

議会運営委員会

- ・中嶋 通治 (委員長)
- ・高野 昇 (副委員長)
- ・中村 喜一
- ・安田 真也
- ・小野 潔
- ・遠藤 義法
- ・稲垣 茂行

議会広報委員会

- ・伊藤 正勝 (委員長)
- ・加藤 克明 (副委員長)
- ・互 金次郎
- ・五十嵐 恵千子
- ・野口 博
- ・小林 昭子
- ・松澤 正

監査委員

- ・山崎 勝他

東埼玉資源環境組合議会議員

- ・佐藤 清治
- ・小野 潔
- ・松澤 正

吉川松伏消防組合議会議員

- ・中村 喜一
- ・高野 昇
- ・互 金次郎
- ・野口 博
- ・伊藤 正勝

江戸川水防事務組合議会議員

- ・加藤 克明
- ・佐藤 清治
- ・五十嵐 恵千子

農業委員会委員

- ・中村 喜一
- ・中嶋 通治

会派別議員氏名

自民・みらい

・松崎 誠 (代表者)

・加藤 克明

・中村 喜一

・安田 真也

・中嶋 通治

・山崎 勝他

・野口 博

・松澤 正

日本共産党吉川市議員団

・佐藤 清治 (代表者)

・高野 昇

・遠藤 義法

・小林 昭子

公明党吉川市議団

・互 金次郎 (代表者)

・五十嵐 恵千子

・小野 潔

市民改革クラブ

・稲垣 茂行 (代表者)

・伊藤 正勝

無所属

・稲葉 剛治

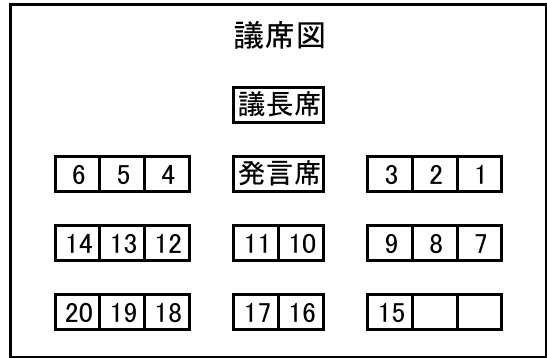
・降旗 聡

・齋藤 詔治

議員紹介

今後4年間にわたり、市政を担う20名の議員を紹介します。

- ・議席番号、氏名
- ・会派
- ・所属委員会
(◎=委員長、○=副委員長)



5番：降旗 聡



無所属
文教福祉

4番：稲葉 剛治



無所属
総務水道

3番：安田 真也



自民・みらい
◎文教福祉

2番：中村 喜一



自民・みらい
○総務水道

1番：加藤 克明



自民・みらい
総務水道

10番：佐藤 清治



日本共産党吉川市議員団
建設生活

9番：山崎 勝他



自民・みらい
建設生活

8番：松崎 誠



自民・みらい
総務水道

7番：中嶋 通治



自民・みらい
○建設生活

6番：齋藤 詔治



無所属
建設生活

15番：野口 博



自民・みらい
文教福祉

14番：小野 潔



公明党吉川市議団
◎建設生活

13番：五十嵐恵千子



公明党吉川市議団
総務水道

12番：互 金次郎



公明党吉川市議団
文教福祉

11番：高野 昇



日本共産党吉川市議員団
○文教福祉

20番：松澤 正



自民・みらい
総務水道

19番：伊藤 正勝



市民改革クラブ
総務水道

18番：稲垣 茂行



市民改革クラブ
建設生活

17番：小林 昭子



日本共産党吉川市議員団
文教福祉

16番：遠藤 義法



日本共産党吉川市議員団
◎総務水道

平成24年 3月定例会

「人とまちが輝く 快適都市 よしかわ」の実現に向け

平成24年度予算など27議案を可決

今定例会は2月27日から3月22日の会期で開催され、市長提出議案27件、議員提出議案4件が上程されました。

改正内容		改正前	改正後
課税限度額	医療分	470,000円	500,000円
	後期高齢者支援金等分	120,000円	130,000円
	介護納付金	90,000円	100,000円
均等割額	医療分	38,000円	33,000円
所得割額の課税率	医療分	5.7%	6.4%

課税限度額、均等割額、所得割額の課税率を左記のとおり改正するものです。

国民健康保険税条例の一部を改正

市長提出議案

重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正

「障がい者制度改革推進本部等における検討を踏まえ、障害保健福祉施策を見直すまでの間において障害者等の地域生活を支援するための関係法律の整備に関する法律」の施行により、住所地特例の制度が変更になったこと等に伴い、所要の改正を行うものです。

○医療費助成金の支給対象となる方のうち、障害児施設に入所している18歳以上の方について

改正前

施設への入所前に吉川市に住所を有すること。

改正後

18歳となる日の前日に保護者が吉川市に住所を有すること。



介護福祉総合条例の一部を改正

【主な改正】

○介護保険料率の改正

《月額基準保険料》

改正前 4,072円

改正後 4,583円

○保険料段階を6段階から

8段階10区分に細分化

○障害者自立支援法、児童福祉法の一部改正への対応

在宅高齢者介護支援手当支給条例の一部を改正

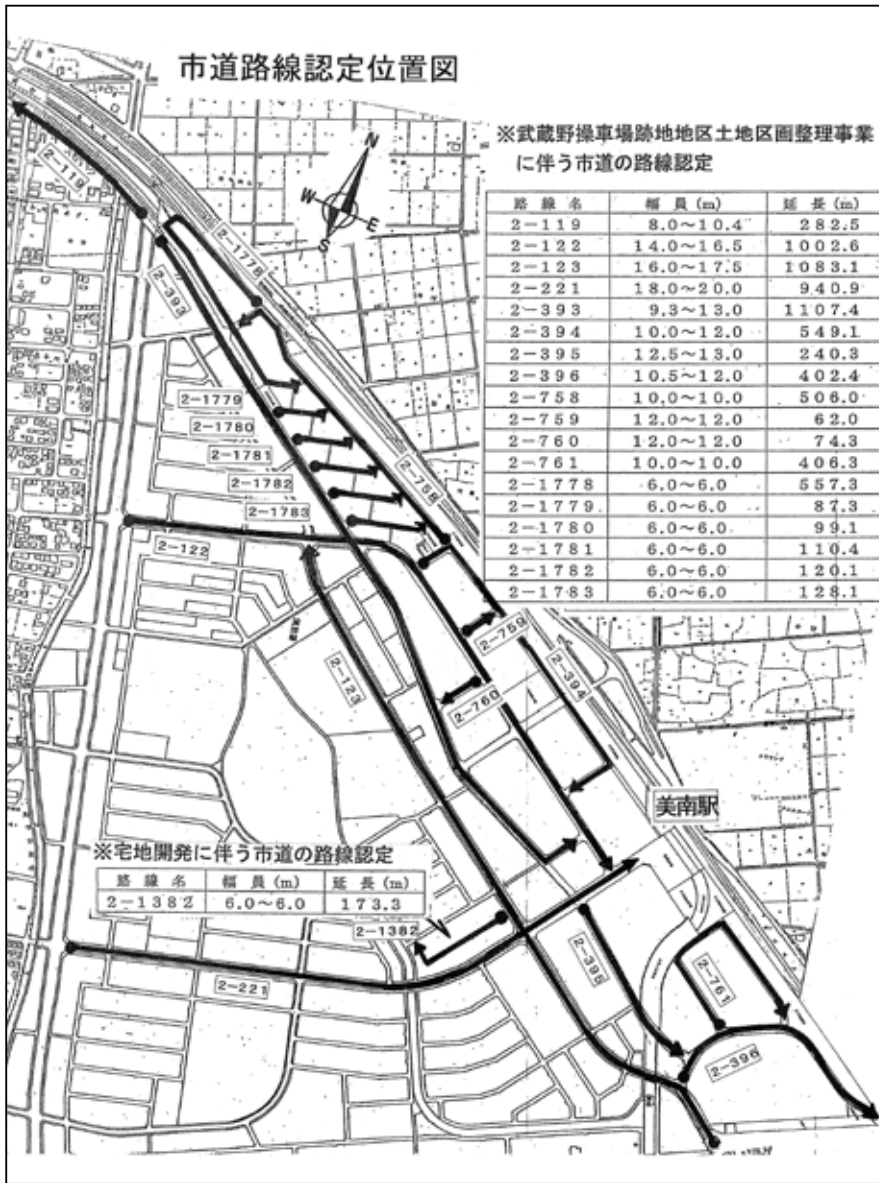
所得税における扶養控除の見直しにより、所得税が非課税だった方が課税される可能性があることから、扶養控除の廃止により影響を受ける利用者が出ることのないよう条例を改正するものです。

保育の実施及び保育料に関する条例の一部を改正

【主な改正】

○所得税、個人住民税の扶養控除の見直しによる影響を可能な限り生じさせないよう調整

○障害者自立支援法、児童福祉法の一部改正への対応



市道の路線認定・廃止

武蔵野操車場跡地地区土地区画整理事業に伴う市道の路線認定および廃止、宅地開発に伴う市道の路線認定、市道整備に伴う市道の路線認定等を行うものです。

図書館条例の一部を改正

図書館法の一部改正に伴い図書館協議会の委員の任命基準を追加するものです。委員は、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者や学識経験のある者の中から任命することになります。

吉川市職員の現給保証制度段階的に廃止へ

平成19年4月の給料表の引下げ改定の際に導入された現給保証制度(新たな給料月額が改定前の給料月額に達しない場合、差額を支給する経過措置)を平成27年3月までに段階的に廃止するものです。

人事案件

- 監査委員 大泉 将平(再任)
- 教育委員会委員 木村 弘子(再任)
- 人権擁護委員 亀田 栄一(再任)

平成23年度一般会計補正予算

歳入歳出

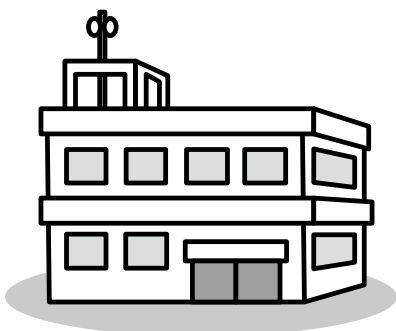
1億715万7千円

【主な事業】

- 重度障がい者支援事業 435万4千円
- 国民健康保険特別会計 繰出事業
- 道路照明灯整備事業 4千864万1千円
- 道路照明灯整備事業 296万4千円
- 用排水路整備事業 △367万5千円
- 道路改良事業 △1千206万円
- 武蔵野操車場跡地及び周辺地区整備事業 3千409万円
- 都市計画街路整備事業 2千616万円
- 学校施設整備事業(小学校) 1億3千380万2千円

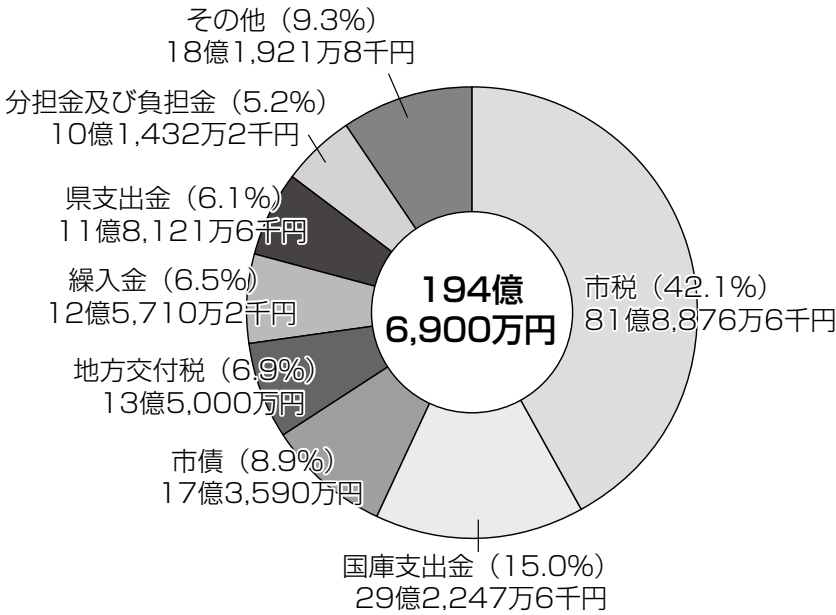
平成23年度特別会計等補正予算

- 国民健康保険 45万9千円
- 下水道事業 △425万8千円
- 介護保険 △6千371万2千円
- 後期高齢者医療 △112万4千円
- 水道事業会計 収益的収入 △674万1千円
- 収益的支出 1千654万9千円
- 資本的収入 165万5千円
- 資本的支出 △3千55万9千円

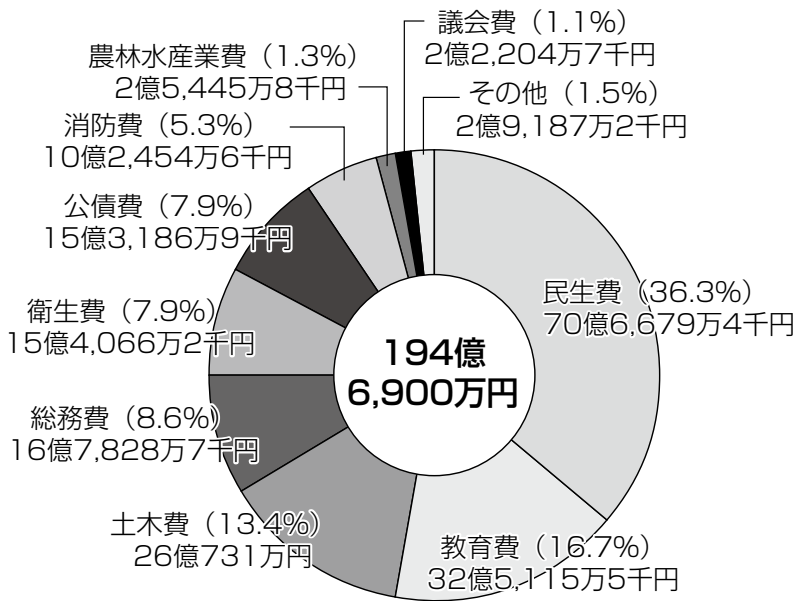


一般会計

歳入



歳出



平成24年度の一般会計予算は前年度比4.9%減の194億6千900万円となりました。また、特別会計予算、水道事業会計予算についても審議し、すべての予算を原案どおり可決しました。

平成24年度予算が決定 一般会計は194億円を計上

平成24年度

主な新規事業

- 防災行政無線増設工事費 344万7千円
- 北谷小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事費 1億2千991万5千円
- 新設子育てサロン委託料 180万円
- 2民間保育所保育委託 1億3千370万1千円
- 送迎保育委託料 589万7千円
- 住宅用太陽光発電設備設置補助金 500万円
- 吉川美南駅東口暫定駐車場管理等業務委託料 435万7千円
- 吉川美南駅への新規バス路線に対する運行経費補助金 706万3千円
- 大腸がんクーポン検診 528万7千円
- 除染業務委託料 1千万円
- 道路舗装新設工事費 662万円
- 庁舎建設検討委員報償 67万円

●水道事業会計予算（単位：千円）

	予算額
収益的収入	1,394,778
収益的支出	1,388,401
資本的収入	729,038
資本的支出	1,152,694

一般会計予算は、前年度比49%減となっています。歳入については、市税や各交付金等で減額となっており、厳しい財政状況が伺えます。財源不足を補填する為、基金から11億7千万円もの繰入れを行い、歳入歳出の均衡を図っています。

歳出については、防災関係において学校体育館の耐震補

賛成討論

自民・みらい

中嶋 通治

●特別会計予算（単位：千円）

	予算額
国民健康保険	7,392,186
下水道事業	1,013,250
農業集落排水事業	29,726
介護保険	2,760,736
後期高齢者医療	350,068

反対討論

日本共産党吉川市議員団

佐藤 清治

吉川市の一般会計予算は194億6千900万円となっているが、年少扶養控除の廃止などに伴うものであり、子育て世帯に重い負担をおわせるものとなっている。

地方交付税は前年度14億9千890万7千円であったことを考えると増額計上すべきです。

事業面では3月補正分も含め北谷小体育館の耐震大規模改修、栄小体育館の耐震、大規模改修の設計などは評価できます。

国民健康保険会計に対する繰り出し金は増し、支払える国保にしていくべきです。

高齢者に対する肺炎球菌ワクチン接種に対する助成は国の動向を見守るとして独自の補助を予算化しなかったのは問題です。小学校3校でのフッ化物洗口は親などの反対や懸念の声が上がっており学校現場では実施すべきではありません。

賛成討論

市民改革クラブ

伊藤 正勝

強・大規模改修や避難所への防災倉庫整備のほか、新庁舎建設の検討が行なわれ、一刻も早い建設を切望いたしています。その他、評価すべき点として、給食センターのPF1導入調査、美南小学校の建設、2民間保育所の開設、吉川美南駅周辺の新たな街づくり、既存道路の維持補修費拡充等があげられます。

東日本大震災後、地方自治体の果たす役割は大きなものになることから、吉川市政のより一層の飛躍を期待します。

賛成討論

公明党吉川市議員団

小野 潔

平成24年度一般会計予算は、前年度当初予算比49%の減となっているものの、財政調整基金を約11億円投入するなど、194億6千900万円という積極的な予算であります。注目すべき点を申し上げますと、東日本大震災を教訓として、災害用物資の備蓄強化や避難所への防災倉庫の整備、防災行政無線の整備。

放射線除染対策では1千万円の予算計上をし、第2期の除染計画の策定を予定して市民の安全・安心を確保しています。また子育てサロンを増設し、保育所の保護者への緊急情報メールサービスの実施、2ヶ所の新設保育所を開設し利便性を図る送迎保育の実施、既存住宅への太陽光発電設備設置補助金制度の導入、「DV防止地域サポーター制度」の実施など、かねてより私達公明党の主張を取り入れた予算と高く評価します。

グラントデザインが見えず、調整や説明力が弱い。今後の取り組みに期待したい。▽放射線の除染、学校給食の食材検査への意欲。▽民間資金活用

の学校給食センター事業への着手。太陽光活用の補助予算、環境センターの民間委託準備。全額県資金活用の臨時雇用対策、電力需給見直しによる経費節減。産廃施設周辺での大気汚染検査の実施。越谷・吉川線の延長工事予算は早期に有効活用めざすものと評価している。

戸張市長が施政方針を報告

会派代表者が問う

市長の平成24年度施政方針に対し、各会派代表者が質問を行いました。主な内容を質問者が要約してお知らせします。

公明党

吉川市議員団

互 金次郎

問 住宅用太陽光発電の設置費用支援事業の概要は。また、保育所保護者へ「緊急情報メール配信システム」の概要は。

答市長 国の補助制度の対象等の条件を満たした戸建既存住宅に、定額5万円の補助を100件予定します。

認可保育所が同一のメール配信システムを導入し、災害時には児童の安否情報を一斉に配信します。

問 第2期除染計画では近隣自治体で行われている土壌検査の実施も検討し、不安



認可保育所で緊急情報メール配信サービスがスタート

の軽減を図るべきと考えますが。

答市長 消費者庁から借用したガンマー線スペクトル分析装置により除染に際し検査が必要となった場合には対応します。農地等の土壌検査は県において実施し市内2カ所を採取し3月には公表と聞いています。

問 都市基盤設備の長寿命化の推進は。第1排水区の浸水被害軽減は住民の切実な要望ですが。

答市長 下水道の汚水管や橋等の長寿命化へも交付金制度を活用します。また、木売り落としを活用した貯留施設を計画し効率的、経済的な整備手法を検討します。

問 交通空白地域への取り組みについて。

答市長 路線バスによる公共交通利用機会の確保が可能との考えから路線バスの充実と改善を図ります。

問 高齢者の命を守る成人用肺炎球菌ワクチンの助成は。

日本共産党

吉川市議員団

佐藤 清治

「税と社会保障の一体改革」市長の見解は

問 野田内閣の進める今回の改革は社会保障の切り捨ての一方で消費税は10%へと増税するもので市民生活を守る立場からどのように考えるのか。

答市長 安定した社会保障財源の確保のために国民に負担をお願いする以上、国会で十分議論を進めていただき理解が得られる適切な結論を導き出していただくことを願っている。

問 高齢者への肺炎球菌ワクチン接種への助成についてどのように対応するのか。

答市長 国では肺炎球菌ワクチンなどを含めた7種類のワクチンについて定期接種導入にむけた議論を行っておりですので国の動向を注視してまいります。

問 介護保険料の値上げについて施政方針では一言もふれていないが、値上げによる影響についてどのように

考えているのか。

答市長 保険料段階の多段階化により、負担能力に応じた保険料の設定を行ったものであり、理解をいただけると考えている。

問 国保税について今回の改正による低所得者への負担軽減は。

答市長 今回の条例改正により所得100万円以下のお全世帯が、また所得200万円以上の世帯では加入数が3人以上の場合など所得が低く加入人数が多いほど軽減が図られると考えている。

問 水道水のフロリデーシオン化について賛成、反対、両方の情報の提供はどう考えているか。

答市長 賛成、反対のご意見についても紹介してまいります。



平成24年度

市長の施政方針

「人とまちが輝く快適都市
よしかわ」を目指して

災害から市民の生命と

財産を守る

○地域防災計画を見直し、防災体制の再整備を図ります。

○全ての避難所の防災倉庫整備を完了します。

○住宅用太陽光発電設備設置費用を支援します。

○防災、災害復旧の拠点施設として真に機能する本庁舎の整備を推進します。

子育てしやすい

まちをつくる

○2つの民間保育所を開設し、待機児童ゼロを目指します。

○送迎保育事業を実施します。
まちなみの住みよさ

魅力を高める

○バス路線の新設により公共交通網の利便性を向上させます。

○吉川美南駅周辺地域の市街化区域編入に向け、土地区画整理事業の事業化を進めます。

自民・みらい

松崎 誠

(問) 市や市民にできる省エネルギー施策、そして、太陽電池以外の代替エネルギーについて。

(答) 市長 市では特定規模電気事業者（PPS）から電力を購入し、経費の節減に努めているところですが、代替エネルギーにつきましては、天然ガス、地熱発電、水力、風力発電、バイオマス等があります。今後、国や県などの先進的な取り組みについて情報収集に努めてまいります。



老朽化が進む第一学校給食センター（川藤）

(問) 給食調理施設の老朽化に伴い、今後、新たな給食センターの整備に向けて、どのような見通しを持っていますか。

(答) 市長 平成23年度に関係地権者と用地交渉を行い、承諾が得られたので土地開発公社による用地先行取得をする予定です。今後、PFI方式による改築手法について、業務委託による導入可能調査を平成24年9月ごろ発注し、手続きを進めてまいります。

市民改革クラブ

稲垣 茂行

(問) 吉川市地域防災計画の見直しのポイントと国・県の防災計画との関係。帰宅困難者や要支援者対策について。

(答) 市長 情報通信機器の整備をはじめ避難所の設置・運営、帰宅困難者対策、備蓄物資、放射能汚染対策等の見直しが必要と考えています。

(問) 防災訓練は、実践的な訓練を実施すべきと考えているが。

(答) 市長 避難所の運営方法やHUG（避難所運営ゲーム）等を検討したい。

(問) 第2期除染計画の概要と食品の放射性物質検査の概要。東電への除染費用等の請求と国からの財政支援は。

(答) 市長 国の特別措置法に基づき除染も兼ね、第1期で出来なかつた街区公園等の除染を進めたい。食品の検査は、4月から当日使用する給食食材の検査に入る。東電への請求は、国の補助対象外となる費用を請求したい。

(問) 新庁舎に求める機能と建設スケジュールは。

(答) 市長 市民の利便性と耐震

性の向上を図る。検討委員会の報告を踏まえて示す。

(問) 南中及び駅北口いちょう通り周辺の治水対策は。

(答) 市長 抜本的対策は総合治水計画に基づき整備。共保・高久ポンプ場の延命化を図る。

(問) 民間保育所開設後の待機児童は。認可外保育所への支援拡大は、就労支援、少子化対策に繋がる政策と考えるが。

(答) 市長 待機児童は解消される見通し。認可外保育所支援拡大については、研究したい。

(問) 美南駅周辺開発の見直し。

(答) 市長 重要課題だと認識している。各種都市機能を備えた複合新拠点として、県との協議を進めて行きたい。



耐震性が心配される市役所庁舎

常任委員会の審査から

3月6日から8日の3日間にわたり、各常任委員会に付託された議案の審査が行われました。常任委員会での主な審査内容を各常任委員長が要約してお知らせします。

文教・福祉



公共施設に設置されているAED

◆一般会計当初予算
平成26年度に地域密着型の介護老人福祉施設29床を開設予定だが、具体的な流れについては。
平成24年の夏くらいから公募をする。場所についてはAED（除細動器）の設置について

予算で計上している。すべて5年間のリースである。公民館施設管理事業の中で、新規事業として美南小学校内公民館の備品購入費の内容は。
会議用テーブル、座卓、座布団、給湯室備品一式、掃除用具一式、電子ピアノ等である。
学校給食センター費の修繕料の内容は。
第一学校給食センターは調理機、重油タンク、地下タンク等の修繕、第二学校給食センターは調理機、牛乳保冷庫等の修繕、関・栄調理場は緊急時の修繕対応として15万円ずつ計上。
給食食材の放射能検査の下限値は10ベクレルだが、基準値については。
下限値は10ベクレルだが、国の基準は100ベクレル。機器は消費者庁からの貸与であり、貸与の条件として50ベクレルを超えた場合は再検査を実施する。ホームページには検査結果を載せていく方向である。
テニスコートがかなり荒れている状態という話を聞いたが、修繕の予定があるか。

テニスコートは遊水池にあり、コートの状態が悪いという利用者からの声は聞いている。テニスコートの管理は道路公園課が行っており今年、1番、2番コートは修繕が終わっている。来年度も順次修繕を行う予定と聞いている。



順次、修繕されるテニスコート

◆国民健康保険特別会計当初予算
広域化を進める中で、税収を上げる一般会計からの繰入をなくす通達があると聞いている。収納率向上やそのために差押えを増やすなどについて

賛成多数で可決

◆後期高齢者医療特別会計当初予算
他に10議案を審査、すべて原案可決

賛成多数で可決

◆介護保険特別会計当初予算
賛成多数で可決

賛成多数で可決

て、また、資格証の発行などについて国からの指導はどんな状況になっているのか。
広域化の本来の目的は、保険税負担格差是正。小規模保険者医療費が高額なところもあり、まず、県単位で給付を統合していき、その先で保険税も公平に負担して統合していこうということだと考えている。給付費は、年々3%伸びており、高齢化による自然増を見込んでいる。収納率が低いと国庫負担の減額があるが、県は支援方針を策定したので、減額はなくなった。差押えは、当市では早くから取り組んでいたため、近年は差押え物件が少なく、件数、金額とも下がっている。通達については、ない。

総務・水道

◆一般会計当初予算

新駅開業に伴うバス路線網は、

交通行動実態調査の結果、

中島など三輪野江地域からの

利用意向が多く、事業者と調

整して路線を考えました。ま

た、日中の買い物、通院等の

要望から市内循環バスが実施

されることになりました。

新駅への市民サービスセン

ターの設置は。

現在は吉川美南駅への市



吉川美南駅開業により、新たなバス路線が整備された

民サービスセンターの設置は考えていません。

震災などによる市税の動向は。

個人市民税は、前年より

給与所得が0.9%の減ですが、

年少扶養控除などの上乗せ

分の廃止などから全体では

1億7千万円の増収を見込

んでいます。法人市民税は東日本大震災や欧州政府の債務危機などの下振れリスクなど不透明な要素が多く、大きな変動は見込んでいません。

賛成全員で可決

◆水道事業会計当初予算

石綿管の布設替えの計画は。

今年度は6km弱で、平成

30年度にはすべて終了する

予定です。

吉川市の水道料金は高いか。

基本料金だけを見ると高

いようにみえるが、使用水量別でみると特に高い状況ではありません。

賛成全員で可決

◆市職員の給与の改正

内容と実施時期は。

人勧で現給保障制度の廃止が勧告され、平成27年4月

までに段階的に廃止します。

までに段階的に廃止します。

までに段階的に廃止します。

までに段階的に廃止します。

までに段階的に廃止します。

までに段階的に廃止します。

までに段階的に廃止します。

◆一般会計補正予算

マイナンバーの市の取り組みは。

社会保障と税に関わる番

建設・生活

◆市道の路線認定及び廃止

について

常磐道北側の市道を廃止す

るが、常磐道南側は。

北側は協定により市道認定

し、市が管理していたが南側は

完成時より県が管理している。

賛成全員で可決

◆一般会計補正予算

用排水路整備事業費が減額

となっているが、どのくらい

整備されたのか。また県の補助金の余りは返還になるのか。

延長は平成23年度分

157.6mの施工である。

県費補助の内示を受けてか

ら発注するため、補助金の返

還はない。

賛成全員で可決

◆一般会計当初予算

DV防止地域サポーター制

度の目的と役割は。

地域におけるDV防止の

啓発が目的である。被害者の

相談・支援ではなく、DV防止やDV支援センターについて地域に発信し啓発してもらう。

GAP実践事業費補助金に

ついて説明を。

GAP実践事業とは、生産

から出荷にいたるまでの安

全性のチェック管理体制マ

ニユアルの作成、研修会の

開催などで、事業主体は「く

らしの里」である。

予算に総合防災訓練費の計

上がないが24年度は実施し

25年度に三輪野江小学校を会場として行いたい。

武蔵野操車場跡地地区、公共

施設の引き継ぎ後は、何年間

か保証があるのか。

完成した公共施設は鉄道

運輸機構と市の検査に合格

したもので問題ないと考え

ているが、瑕疵があった場合

は鉄道運輸機構と協議する。

環境センターはなぜ包括業

務委託なのか。

25年度に三輪野江小学校を会場として行いたい。

武蔵野操車場跡地地区、公共

施設の引き継ぎ後は、何年間

か保証があるのか。

完成した公共施設は鉄道

運輸機構と市の検査に合格

したもので問題ないと考え

ているが、瑕疵があった場合

は鉄道運輸機構と協議する。

環境センターはなぜ包括業

務委託なのか。



委員による路線視察

◆下水道事業特別会計予算

賛成全員で可決

◆農業集落排水事業特別会計予算

賛成全員で可決

水道事業会計補正予算
水道使用量の放射能影響は。節水機器の普及で使用水量が減ってきているが、平成23年度は原発の影響もあるのではないか。

賛成全員で可決

号制度（マイナンバー）は、社会保障を的確に給付するために必要との考えもあるが、一方で情報漏えいの問題もあり、現在国会で議論されている。

賛成全員で可決

答えて市長！

一般質問

一般質問は3月19日、21日、22日の3日間にわたって行われました。
質問・答弁ともに質問者が要約していますが、詳細な内容は会議録をご覧ください。
会議録はホームページや市立図書館等で閲覧できます。
なお、最新の会議録の提供までには3か月程度かかります。

フッ化物応用に対する市の姿勢を問う

稲垣 茂行

(問) 市長は「フロリデーション」を推進したいのか。

(答)市長 フロリデーションは、WHOをはじめ世界の医学・歯学等専門機関が推奨しており、公衆衛生的に優れた方法だと言われている。

厚労省でも、水道事業者、水道利用者、地元歯科医師会等の理解を前提に技術支援を表明している。公衆衛生を向上させる手段だが、まずは市民や関係団体の理解を得ることが最優先と考えている。

(問) 集団フッ素洗口及びフッ化物歯面塗布実施時のインフォームド・コンセントは。

(答)市長 洗口を行っている保育所では、年度初めに歯科医師から保護者に対し安全性・効果・具体的方法等について説明を行い、書面で洗口希望の有無を確認している。保健センターで実施している歯面塗布については、検診時に歯科医師・歯科衛生士が説明し、希望する方に歯面塗布を行っている。

(答)教育長 旭・北谷・関小で実施しているフッ素洗口では、保護者説明会を開催し、希望する保護者から同意書をいただき実施している。児童については、発達段階に応じ分りやすく説明している。

(問) 「正しい情報」とは。

(答)市長 WHOや国、歯科医師会の公式見解や学説等を正しい情報と考えている。

(問) 「フロリデーション」実施の是非について、公開討論会を開催すべきでは。

(答)市長 その立場にはない。

視覚障がい者対策の充実を

小野 潔

(問) 「第3次吉川市障がい者計画」の策定がなされましたが、その中の視覚障がい者対策について①移動、外出支援の具体策は。②パソコンの音声読み上げソフトの普及に努めるとあるが、このソフトを使いこなせるよう教える人の確保はどうされるのか。

③点字用プリンターが設置され、音声読み上げソフトの講習会の出来る「視覚障がい者専用ルーム」の設置を求めますがいかがですか。

(答)健康福祉部長 ①同行支援を考えている②講演会や説明会の開催で人材確保を図っていく③現在検討されている新庁舎建設（仮称）総合福祉センター内での設置を検討する。

◆LED照明等で節電対策を

(問) ①公共施設の高効率蛍光灯・LED照明への切替で節電対策を。②自治会の集会所などへLED照明の設置・推進を図る為補助を行っては。

③中小企業事業者、個人事業者向け高効率蛍光灯・LED照明器具設置費助成制度を導入しては。

(答)市民生活部長 ①小中学校では耐震補強、大規模改修に併せて行ってきた。一斉には無理だが随時改修、補修に併せて行っていく。②市では自治会の集会所などの改修、補修費の二分の一の補助金を出している。LED照明もその中でと周知徹底していく。③市の財政も厳しい状況にある。また今後LED価格も安価が予想されるため制度の導入については研究をしていく。

学校・学童におけるインフルエンザ流行時等の対応策充実を

五十嵐 恵千子

(問) インフルエンザ流行時等の学年閉鎖や学級閉鎖の実態。また、急な下校等、緊急対応策についてお伺いします。

(答)市長 学童では、学校と同様に集団感染リスク低減の為、当日の急な下校等、緊急かつやむを得ない場合を除き、原則お預かりしません。保護者はご近所等、いざという時に助けていただける知人づくりに努めて頂きたい。また、手助けを受ける事が難しい際は「ファミリーサポート

ト事業・緊急サポート事業」を活用しながら、緊急時のサポート体制づくりを考えて頂きたい。

(答)教育長 各学級児童数の2割程度の欠席者が出た場合、学校医と協議の上、概ね3日間の学級閉鎖を実施。急な下校等については、明確な規定はないが、当日の欠席者数や登校児童の健康状態を考慮し、下校の決定をしています。

(答)健康福祉部長 学童入室時の説明等、保護者に安心して頂けるよう推進します。

(答)教育部長 学校でファミリーサポート事業等を広く保護者へ周知する事を検討します。

◆避難所や防災倉庫へ「自動開錠ボックス」の活用を

(答)市長 地震の大きな揺れにのみ自動開錠される利点はあるが、管理面での課題を考え、今後の地域防災計画等の中で避難所管理として検討します。

◆道路整備計画の見える化を

(答)都市建設部長 毎年優先順位を定めて行っている現状です。

軽・中度難聴の高齢者と子どもたちに補聴器購入補助を

互 金次郎

(問) 高齢者の難聴は、閉じこもりや老人性うつ、更に認知症等の原因のひとつになるものとも言われています。急速な高齢社会を迎えるにあたり、高齢者の難聴対策は必要不可欠と考えます。また、子どもたちにとつ

て幼少期は言葉や社会性を獲得する重要な時期であり、学齢期は将来にわたる基礎学力を習得する大事な時です。もし軽・中度難聴の子ど

もさんが、経済的負担を理由に補聴器装着が遅れるようなことがあれば、その子の人生にとっても大きな損失となりかねません。身体障害者手帳の対象とならない軽・

中度難聴の方が補聴器を購入する場合は、全額自己負担になり、手軽に補聴器を使用できる状況にはありません。

軽・中度難聴の高齢者と子どもたちに補聴器購入補助を検討しては。

(答)市長 平成24年度より埼玉県が実施予定の軽・中程度

の難聴児に対する補聴器購入補助制度や他市町村の事例を踏まえ、研究します。

◆自治体クラウド導入で災害リスク回避と経費削減を

(問) 自治体クラウド活用で、運用コスト削減と外部に住民情報のバックアップ確保が可能となり災害時のリスク分散も図れます。導入検討を。

(答)総務部長 5市1町埼玉県東南部都市連絡調整会議の協議の進展に合わせ対応します。

吉川市の最新情報の発信方法について

稲葉 剛治

(問) 現在吉川市で試行しているツイッターの意味、目的は。

(答)政策室長 吉川市で万が一災害が起これば、サーバーがダウンしたり、通信回線が切断されたりといった時、通信手段がとれないような状態になった時の備えとして試行する事を決めた。

(問) 災害時の情報発信手段として運用する為にフォロワー数を増やす事にも力を入れて頂きたい、市のHPの

更新情報、イベント情報など常時発信し、災害が起きたら災害情報の提供に切り替えるという使い方はどうか。

(答)政策室長 災害時、いざという時に多くの方に使ってもらえるにはご指摘のようなフォロワー数を増やしていく事が非常に有効であると思う、今後検討していきたい。

◆吉川駅の整備について

(問) 吉川駅前敷石のデコボコを整備して頂く事で市民の方の負担が減ると考えるがどのように考えるか。

(答)都市建設部長 基準の枠の中で実施させて頂いた所だが、そういった声も上がっているので研究していきたいと考えている。

◆発達障がい児への支援について

(問) 発達障がいの早期発見の為に5歳児健診の実施をお願いしたい。

(答)健康福祉部長 5歳児健診も発達障がいの早期発見に役立つと考えているが、それ以前の早い年齢に重点を置いて実施して

行きたいと思っている。



ファミリーサポートセンター (おあしす内)

給食食材の放射線測定など
食品の安全確保の取り組みは

高野 昇

問 昨年12月市議会で給食食材の検査実施を求め、市長と教育長から答弁を頂き、検査が実施されることとなり、皆さんから喜ばれている。

追加被曝量は、外部被曝と内部被曝の総量で考慮すべきではないか。

答政策室長 私どもは被曝に関する知見を充分持つておらず、国が示した基準に基づいて対応している。

問 食品安全委員会が「あたかも外部被曝を含めた放射線全体の健康評価をしたような誤解が生じた。」とお詫びの会見をしている。市としての知見も持つて、市民が安心できる対策が必要ではないか。

答政策室長 国の中で起きた矛盾なので、国の方でしっかり対応していただきたい。

◆TPP参加は、食の安全基準に大きな影響があるが

問 食品添加物や残留農薬基準など、非関税障壁の撤廃

が原則となっているが。
答市長 交渉のテーブルに付いていない現時点での影響を判断することは難しい。

◆市の公共工事や業務委託の現場労働者の賃金実態は

問 公共工事や業務委託の現場労働者や業者の、賃金・労働条件の劣悪化が問題となっている。吉川市の実態は。

答総務部長 市発注の工事等に係る労働者の賃金・労働条件の実態は把握していない。請負者が法令を遵守し適切に対応していると考えている。

三輪野江地区の地域環境整備への取り組みを

中村 喜一

問 生活道路の安全確保を。

答都市建設部長 舗装の劣化がみられるところもあり、平成24年度において、舗装を行う予定である。

問 歩行用道路の整備を。

答都市建設部長 水と緑が親しめる快適な歩行空間について、空地や安全性、利便性などをふまえ研究する。

問 農業用排水路の維持管理について。

答市民生活部長 土水路部分の崩れた箇所は、堀削による成型や、危険箇所の補修などをすすめていく。

◆これからの農業政策のすめかたについて

問 次代の農業の担い手の育成について市長の見解は。

答市長 農業従事者の高齢化を考えると今後重要な課題である。地域農業の担い手となる認定農業者の確保をはかるとともに若手の農業者、青年会議所など団体への支援を行っていく。

問 新規農業者の育成について方策は。

答市長 市内の農業法人への高校生などの研修の受け入れは新規就農につながっている。今後、国の新規就農者確保事業の活用などを検討していく。

問 将来を見据えた農業の抜本的対策について。

答市長 農業の重要性の理解と、農業者の経営力の向上に努める必要がある。また、担い手農業者の確保や、農地

の集積化、農業者の経営力の向上などに取り組んでいく。



吉川市の農業の将来は…

歩行者の分離について。また、自転車の一方通行化について。

②グリーンベルト、横断歩道の設置基準について。

③ブロック塀などの耐震診断や改修に要する費用支援について。

答市民生活部長 ①警察署と協議していきたい。②グリーンベルトはドライバーの視覚の面で交通事故が少なくないという感覚もある。横断歩道に合わせて交差点の強調表示についても検討していく。

答都市建設部長 ③補強の啓発に努めているが補助金については、現在、考えていない。

問 PTAで行っている通学路安全点検の活用を。

答教育部長 県では平成23年7、8月にPTAの協力を得ながら通学路総安全点検に取り組んだ。教育委員会で、学校・PTA・自治会と連携し定期的に安全点検を行い危険箇所の解消を図ってきた。今後とも点検ポイントなどを活用し、児童・生徒の安全を確保していきたい。

生活道路の改善と自転車・歩行者の分離を

降旗 聡

問 子どもたちの登下校時や放課後の安全確保、さらに大規模災害時には避難経路ともなる生活道路の整備が必要であると考えます。市の見解を以下3点について伺います。

①いちよう通りの自転車と

駅南バス路線の震動 対策を早く

佐藤 清治

(問) 2009年(平成21年)12月議会でも取り上げたが、今回の市議選の中でも住民の方々から一日も早い対策を求める声が寄せられている。市の対応は。

(答) 都市建設部長 水道管の布設替え工事とあわせ舗装工事をおこなっていく予定です。現在、布設替え工事の年次計画をたてているところであり、早い地域においては平成24年度から着手すると聞いております。特に震動の激しい箇所につきましては順次補修工事をおこなってまいります。

◆後期高齢者医療保険料の値上げに市の独自対策を
(問) 埼玉県後期高齢者医療制度の保険料が平均3千349円値上げとなった。支払いのために益々生活が厳しいものとなっていく。市として独自の保険料軽減対策を考えるべきではないか。

(答) 市長 法律と条例により広

域連合が保険料を決定し課すことが規定されている。保険料の減免につきましても市町村に権限がありません。市としては被保険者の皆様に理解していただけますよう改正された点や制度の周知につとめてまいります。

◆吉川でのいじめの実態は

(問) 2010年(平成22年)文科省の調査では学校のいじめが6.7%増加したとされている。吉川市の実態はどうか。
(答) 教育長 平成22年度、小学校3件、中学校30件となっております。

「お出かけ難民」を作ってはいけない

小林 昭子

(問) 市内高齢化は着実に進み、車や自転車、バイク等の運転もできなくなっている人も増え、文字通りお出かけ難民が市内に発生していることをどう認識し対応するのか。

(答) 政策室長 昨年度行った交通行動実態調査からも、自ら交通の手段を持たず外出

を控えている市民がわずかながらもいると認識している。市ではこのような状況に対応する為、バス事業者と協議し、比較的路線バスの手薄な東部地域への路線バスの運行を開始しました。この事により、より多くの方々の外に出に寄与できると考えます。

◆放射能第二次除染計画へ

(問) ①通学路沿いの水路の測定は。②用水路はさらいを。③土壌④野菜の測定の対応を。

(答) 政策室長 ①②局的に高い箇所もある。今後詳細に調査し、必要な除染を行う。③埼玉県の土壌調査の結果を見て考える。④今後、借用した分析装置の活用で検査もしてゆく。

◆身近な生活道などの改善を

(問) ①川端地域のしんきぼりと江戸川堤防沿い道路の路面改修②土場369―2地先③三輪野江1308地先④おつかさん通りの歩道西側は⑤中野242―2地先⑥歩道の改修を

(答) 都市建設部長 ④につい

ては平成23年度から東側の改修を行っている。平成24年度から引き続き歩道や側溝改修を行っていく。

水道水フロリデーション 推進は中止を

遠藤 義法

(問) 水道水フッ素化のメリット、デメリットは。①フッ化物は、摂取量が多いと斑状歯などになる。②中止した事例が何カ国かある。日本で19の自治体で実施をめぐしたが現在5自治体のみとなっている。③アメリカではフッ素濃度を下げる動きと、世界保健機構では6歳児未満のフッ素洗口は推奨していない。

12月議会で約束した市民の疑問や危険性に対する情報提供の紹介は。

(答) 市長 導入している地域は虫歯が半分減少し、医療費が減っているのがメリットである。水質基準濃度を守ればデメリットはない。中止した国では政治的理由などから医学的に問題があつてやめた国はない。情報はWHOなど正式機関

からのもので、市ホームページなどで知らせている。危険性などについて引き続き紹介していきたい。

(問) 市長は、時期を決めて中止の決断をすべきである。
(答) 市長 これからも議論していきたい。

◆地域公共交通網の整備を

(問) すべての市民が外出できる交通の施策が求められている。バス公共交通網の整備や市民バスの実施、デマンド交通、敬老バス券発行は。
(答) 市長 アンケート調査を基に民間バス事業者と協議をし、路線の充実を図っており、協議会等の設置は考えていない。



公共交通網の整備が求められているが…

新たな年間10億円有余の恒久財源 確保に向けた諸施策の導入

齋藤 詔治

(問) 私たち市議は、市が行う予算決算の歳入、歳出チェックも重要な責務ですが、地方の自立が急務の今日、新たな市税「恒久財源」確保に知恵を絞り、汗をかく努力も重要な議員活動です。吉川市で今計画されている多くの事業等を速やかに実施し、完成することにより、10億円有余の財源確保が叶うと考えますが。

(答)市長 今後第5次吉川市総合振興計画に位置づけた事業を推進する為の努力をして参ります。

(問) 市民の税金を新たなまちづくり投入する事は、絶対になりません、積極的に民間活力を導入すべきです。

(答)市長 事業実施には、民間活力の導入も含め個々の特性に応じた、最適な手法を選択して参ります。

◆(仮称)第四中学校建設の 早期開校予定の決定を

(問) 美南小・中曾根小の生徒達が南中への登下校通学に

自転車利用者が多い。自転車による交通事故等を考慮し、一日も早い建設を。

(答)教育長 今後教室不足が見込まれますが、数年間は仮設校舎での対応が可能です。建設時期は、生徒数の把握に努め決定して参ります。

◆道路側溝清掃の現状は

(問) 多くの側溝に、汚泥や砂利等の堆積が見られます。市が行う、清掃処理基準は。

(答)都市建設部長 排水路清掃処理要領並びに排水路清掃基準にて実施しています。

跡地はエコのモデル タウンに

伊藤 正勝

(問) 吉川美南駅開業に続いてこの秋には武操跡地が一括売却される。この跡地をエコ・防災のモデルタウンにする。売却の際の条件にすることはできないか。

(答)市長 売り主の運輸施設支援機構では跡地の精算については最高落札価格者を落札者とすることを定めており、条件をつけることは難

吉川橋架け替え工事に関する 進捗状況について

加藤 克明

(問) 吉川橋架け替え工事に関する進捗状況について。

(答)市長 平成24年3月末での用地買収は、5千600平方メートルのうち、約2千370平方メートル、物件補償については、40件のうち17件が済んでおり、約40%の進捗状況、今後は、必要な用地を優先的に取得していくと県から聞いている。

(問) ①吉川橋から吉川交番交差点までの無電柱化について。

②橋桁部分を空洞化し、公園等の施設整備をする事について。

③橋の欄干と道路照明灯には歴史ある吉川市の特色を盛り込む事について。

(答)市長 一括して答えます。平成22年12月16日に、地元4自治会から埼玉県知事に要望書を提出し、さらに、平成23年3月議会において、請願が提出、採択されています。県からは、地元の要望を踏まえ橋梁取り付け部の景観計

画の策定を行っていく予定と聞いている。当市としても、引き続き早期完成の要望を行い、地元の要望についても、県と協議し、調整を図っていく。

(問) 橋際に船着き場を設置し、船運の利用ができるようにすることについて。

(答)都市建設部長 緊急・水上交通・観光用など想定される事から、河川管理者の江戸川河川事務所では、場所や構造に課題がある為、今後、研究していくとの事。



吉川橋

さくら通り「一之橋」交差点の改良、橋の拡幅・架け替え

安田 真也

問 さくら通りの交通量増加に伴い、一之橋交差点は渋滞が予想される。また、駅や郵便局、学校等も近く、多くの通行人がいることから交通安全の面からも危険性が危惧されている。以前、県では調査・研究をしているということだったが進捗は。

答 都市建設部長 県では一之橋の交差点改良を検討している。橋は二郷半領用水と木売落としに架かる橋であり、それぞれの水路管理者とどのくらいまで拡幅が出来るか協議中。市としては、県道越谷流山線の交差点形態が不十分（大型車の安全かつ円滑な交通を確保できない状況）であることから、県の予算編成時に要望を上げている。

問 橋の構造はどうなっているのか。また、歩行者安全の観点から、歩道の拡幅も合わせて要望すべきでは。

答 都市建設部長 構造や設計等については研究中。歩道



改良が待たれる一之橋交差点

についても広げるよう要望をしていきたい。

◆保2区南児童広場について
問 前々から取り組んでいただいている児童広場設置についての進捗は。

答 市長 平成24年2月21日土地所有者と無償貸し付け契約締結。市児童広場設置要項に基づく児童広場として設置した。今後、保2区南児童広場として早期に利用できるよう、自治会と協力しながら進めていく。

議員提出議案

意見書

今定例会では次の2件を可決し、内閣総理大臣等へ提出しました。（一部抜粋）

こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書

現在の我が国は、年間自殺者が3万人にも上り、320万人を超える方々が精神疾患のために医療機関を受診しているという数字に代表されるように、「国民のこころの健康危機」といえる状況にあります。しかし、日本における精神保健・医療・福祉のサービスの現状は、こうしたこころの健康についての国民ニーズに比べられるものではありません。

世界保健機関（WHO）は病気が命を奪い生活を障害する程度を表す総合指標（DALY）を開発し、政策における優先度を表す指標として提唱しています。欧米ではこの指標に基づいて国民の健康についての施策が進められていますが、日本ではそうした重

要度に相応しい施策がとられてきていません。

よって、すべての国民を対象とした、こころの健康についての総合的で長期的な政策を保障する「こころの健康を守り推進する基本法」の制定を強く求めます。

国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額を求める意見書

現在、国民健康保険加入者の状況は、高齢者が増え、さらに非正規雇用者の加入なども増えている。そのため国民健康保険は、事実上低所得者で他の医療保険に入れない人々の医療保険となつている。加入者の所得は低下しているにもかかわらず、保険料負担は重く、支払いが困難となつている世帯が増えている。

国民健康保険には、被用者保険の事業主負担に当たるものがないため、国が国庫負担を定めている。保険料が高くなった原因は、医療費の増加とともに、国が国庫負担率を引き下げたことが大きく影響している。1984年までは、「かかっ

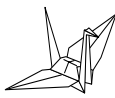
た医療費の45%」が国庫負担であったが、それ以降「保険給付費の50%」となり、かかった医療費の38.5%に引き下げられた。結果、市町村国民健康保険の総収入に占める国庫負担の割合は3割以下となっている。

よって、国におかれては国民健康保険を真に社会保障として存続させ、加入者が安心して必要な医療が受けられるようにするため、国庫負担を見直し、増額されるよう強く要望する。

意見書とは

吉川市民にとって重要なことであっても、それが国などの仕事であるため、市では解決できないことがあります。このようなとき、国や関係行政庁に議会の意見や希望をまとめた文書（意見書）を提出することができます。

意見書の提出は、地方自治法で定められた地方議会の権限のひとつです。



審議結果

平成24年第1回(2月)臨時会 ○=賛成、×=反対、*=一部反対

議案名	自・み	共産	公明	改革	無所属
監査委員の選任について					
賛成多数で同意					

平成24年第2回(3月)定例会

議案名	自・み	共産	公明	改革	無所属
吉川市重度心身障害者医療費支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○
吉川市介護福祉総合条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○
吉川市在宅高齢者介護支援手当支給条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○
吉川市保育の実施及び保育料に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○
吉川市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例	○*	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○
吉川市図書館条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○
吉川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○
吉川市上水道事業の布設工事監督者の配置及び資格並びに水道技術管理者の資格に関する条例	○	○	○	○	○
埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○
市道の路線認定及び廃止について	○	○	○	○	○
監査委員の選任について	賛成多数で同意				
教育委員会委員の任命について	賛成多数で同意				
人権擁護委員の推薦について	賛成全員で同意				
平成23年度吉川市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○
平成23年度吉川市水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市一般会計予算	○	×	○	○	○
平成24年度吉川市国民健康保険特別会計予算	○	×	○	○	○
平成24年度吉川市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○
平成24年度吉川市介護保険特別会計予算	○	×	○	○	○
平成24年度吉川市後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	○
平成24年度吉川市水道事業会計予算	○	○	○	○	○
吉川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例に対する修正案	×	◎	×	×	×
こころの健康を守り推進する基本法の制定を求める意見書	○	○	◎	○	○
国民健康保険に対する国庫負担の見直し・増額を求める意見書	○	◎	○	○	○
自立支援医療を見直し障がい者医療費の負担軽減を求める意見書	×	◎	×	○	×
個人住宅を含めた除染対策と全面賠償を求める意見書	×	◎	×	×	○*

自・み=自民・みらい、共産=日本共産党吉川市議員団、公明=公明党吉川市議団
 改革=市民改革クラブ、◎=提出した会派

表紙写真の説明



市内2番目の駅、吉川美南駅が開業し、記念式典ではテープカットやくす玉開披などが行われました。また、式典終了後には、東口交通広場にて植樹式が開催されました。

平成24年6月定例会の予定

- 6月1日(金)
本会議
(開会日・議案上程)
- 6月5日(火)
本会議(議案審議)
- 6月6日(水)
委員会(議案審査)
- 6月7日(木)
委員会(議案審査)
- 6月8日(金)
委員会(請願審査)
- 6月12日(火)
本会議(委員長報告)
- 6月13日(水)
本会議(一般質問)
- 6月14日(木)
本会議(一般質問)
- 6月15日(金)
本会議
(一般質問・閉会日)

編集後記

市制が施行されて4度目。定数が20人に改定後2度目の市議会議員選挙です。新しい議員による臨時議会は2月6日に開催。議長、副議長を選出し議席を確定。常任委員会や関係委員会、東埼玉資源環境組合や吉川・松伏消防組合議会などへの各議員の割り振り。前半2年間の議会構成を決めて2月27日から25日間の3月予算議会へ。

24年度は吉川市の今後10年の長期プラン、第5次総合振興計画や第2次吉川市地域福祉計画がスタートする節目の年です。この間3.11の災後1年。吉川美南駅の開業。時代は激動、変革の時期。地域も変身、飛躍の基盤を固める大事な時です。議会の役割は一段と重いものになっています。未来への責任を果たす自覚を持って臨みたいと思います。

伊藤 正勝

- 発行 吉川市議会(平成24年5月1日)
- 編集 吉川市議会広報委員会 〒342-8501 埼玉県吉川市吉川二丁目1番地1
- ホームページアドレス <http://www.city.yoshikawa.saitama.jp>
- TEL&FAX 048-982-9421
- 「よしかわ議会だより」のテープ版は、朗読サークル「きんもくせい」の協力で作成しています。